

特別講演 1

「呼吸器科領域疾患の聴診・打診による診断、そして治療」

滋賀医科大学 呼吸循環器内科 講師

長尾 大志 先生

このたび貴重な機会を頂きまして、拙著『呼吸器内科 ただいま診断中！』の中で紹介しておりますような、呼吸器症状がある症例の鑑別診断を基本的な呼吸器症状、診察所見から進めていく過程を、ジェネラリストの先生方に体験していただこうと考えております。

おそらく現場で臨床に携わっておられる先生方にとっては「今さら診察なんて…」と思われるかもしれません。逆に、胸部の診察を確認される機会も少ないかもしれません。プライマリの現場でよく遭遇する、咳、呼吸困難などの症状を呈する呼吸器疾患コモンディジーズの多くは、特徴的な症状、症候、身体所見があり、診断にはそれらの知識が不可欠です。それらの知識を学んで頂き、当院で経験した、「診断に身体所見が重要であった」症例を通じて追体験をして頂き、現場で実践出来るお手伝いをしたいと思います。

身体診察で見られる所見がなぜ起こっているか、そしてその特異性を理解すれば、診察を戦略的に行うことが可能でしょう。そのような知識もご紹介します。